

全国学力・学習状況調査の結果より

[学力調査の結果より]

国語科では、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」、「読むこと」の内容において、全国平均と比較しても課題がある分野と考えられます。それらの中でも特に、「書くこと」に対する弱さが見られます。今後も、目的や意図に応じて、根拠をもとに伝えたいことを明確にすることや事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表す学習に、引き続き取り組んでいきます。

算数科では、「数と計算」と「変化の関係」の内容において、高い正答率となりました。一方で、「データの活用」は、全国平均と比較しても課題がある分野と考えられます。今後も、表やグラフから必要な数値を読み取り、問いに対して言葉と数を用いて記述できる力を高めていきます。

【課題の克服に向けた主な取り組み】

① 朝のチャレンジタイム（朝学習）

小津小学校では、朝の15分間にチャレンジタイムを行っています。今年度も「くりかえし」をテーマに、根気強く繰り返し取り組むことで確かな力が身につくよう学習しています。

② 振り返りの充実

学習したことをノートなどにきちんとまとめていくよう、ノート指導を大切にしています。また、お手本となるノートを表彰・掲示する「ノートグランプリ」の取り組みも進めています。

③ 読むことの充実

学力テストの問題のような長い文章を読むことに、抵抗を示す子がいます。文字を読むことに慣れ親しめるよう、読書活動にも取り組んでいます。

④ ICTの活用

GIGAスクール構想を受けて1人1台端末の積極的な活用を進めています。低学年では、学習ソフトを用いたひらがなやカタカナなどの習熟、中学年では、ローマ字入力のタイピング練習、高学年では、調べ学習における、まとめ、発表に力を入れています。



[学習状況調査の結果より]

「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」や「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の項目で全国平均と比較してもよい傾向が見られます。分からないところを先生がいつでも教えてくれる環境があることや自分自身で学習のサイクルを身につけていることが良い結果に結びついています。

一方で、朝食を毎日食べているか、同じ時刻に寝たり起きたりしているかなど、基本的な生活習慣については、全国平均と比較してやや課題が見られます。引き続き、お子さんの食事や睡眠、家庭学習の様子にご留意いただきますようお願いします。

小津小学校では、「豊かな心と生きる力をもち、自ら考え、やりぬく小津の子」を学校目標に掲げ、日々の教育活動を推進しています。また、今年度も、道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業にも参画しながら、相手の気持ちを感じ、自らの思いを伝えられる力をより一層伸ばしていけるよう、全校一丸となって取り組んでいます。